

特集

港湾の国際競争力の強化に向けて

輸出や輸入を通じ、私たちの日々の生活を確実に支え、また、経済のグローバル化の進展に伴う国際分業システムを効率的に構築していくためには、港湾を通じた物流がコスト・スピードや、安全性・信頼性において国際水準にキャッチアップし、さらにはそれを上回るようなものとなっていることが大変に重要です。このため、国土交通省としては、アジアの主要港をしのぐコスト・サービスの水準の実現を目標に進めるスーパー中枢港湾プロジェクトを平成17年度から本格展開するほか、港湾の情報化の一層の推進など、ハード・ソフト一体となったさまざまな施策に取り組んでいます。本特集では、このような港湾の国際競争力強化のための昨今の取組みなどについて、ご紹介します。



- 対 談：国際競争力強化のための港湾政策
杉山 武彦（一橋大学学長）
鬼頭 平三（港湾局長）
- 寄 稿：SCM（サプライチェーンマネジメント）の動向と港湾への期待
神田 正美（サプライチェーンカウンシル日本支部 パイスチエアマン）
- ：コンテナ船の大型化の動向
長塚 誠治（日本郵船(株)調査グループ アドバイザー）
- ：地域間競争力確保と国際海上コンテナ航路網の展開
古市 正彦（(財)運輸政策研究機構 運輸政策研究所 主任研究員）
- 紹 介：横浜港におけるメガターミナル育成への取組み
横浜市 港湾局
- ：海外におけるハブ港湾の動向
津田 修一（(財)国際臨海開発研究センター 第三調査部長）
- 解 説：スーパー中枢港湾プロジェクトの推進
（港湾局 計画課）
- ：港湾関連手続の簡素化に向けた電子化の取組み
（港湾局 環境・技術課港湾情報化推進室）
- ：港湾における保安対策の強化
（港湾局 管理課港湾保安対策室）
- ：港湾における大規模地震対策
（港湾局 海岸・防災課）